

## 19:00～ ご挨拶・ガイダンス



第2回をキックオフする  
NEXCO西日本の濱野 昌志さん



全体をファシリテーションする  
FDCの片田江 由佳さん

## 19:10～ 自己紹介タイム



これから半年間ともにプロジェクトを進めるチームメイトの仲間にご挨拶

# 大きく育て！ アイデアの たね

# 小城市 リビングラボ プロジェクト ニュース No. 2

発行日：令和元年10月21日  
発行者：小城市総合戦略課

## 第2回 10/1(火)に開催

## 19:25～ インプット(「商品開発の考え方を学ぼう」「国内外の最新事例紹介」)



商品開発の考え方を伝授する  
竹下製菓の竹下 雅崇さん

### 対象になる商品を明確化

	例	単価	販売難易度	制約
一般流通品		安	難	多
お土産品(土産品)		高	中	中
飲食店メニュー		中	易	少

- ・みそ汁が即席のできるみそ玉
- ・たべるミルク
- ・歯科医師らが改良した舌でとろけるカステラ
- ・お椀でたべるヌードル
- ・光るタピオカミルクティー
- ・日常でも食べられる非常用レトルト食品
- ・朝ごはんを夜に食べる新たなライフスタイル「ブリナー (Breakfast + Dinner = Brinner)」

## ～商品開発の考え方～

### マーケットイン

お客様のニーズを捉えてそれに合った商品を作る事

#### 例

西九州大学が出来てから若い子が増えたけど、若い子向けの商品が少ない

インスタ映える商品は出来ないか？

### プロダクトアウト

作り手側の都合や思いを基にして商品を作る事

#### 例

私はどうしても小城羊羹を使ったアイスが作りたいんだ！！！！

小城羊羹をアイスに貼付けよう！

## 19:40～ グループワーク①(各社の商品を分解してみよう)

第2回小城市リビングラボ商品開発アイデアシート (2019.10.1)

Concept コンセプト **高級志向の方にお手軽に佐賀牛を♪**

Tagline キャッチフレーズ **出来立てブラックモンブランを食べてほしい！**

Target 誰に利用してもらう？ **沖縄の既存産品をフル活用！**

Resource 活用したい・伝えたい小城の「魅力」は？ **沖縄の既存産品をフル活用！**

Approach 小城市の魅力はどうやって知ってもらおう？ **沖縄の黒糖・泡盛等の羊羹**

Scene どんな時に利用してもらう？  
どんな気分にさせたい？

Idea 商品の特徴 (味・材料・見た目・食感etc) **「こどもびいる」というネーミングと、オリジナルなラベルで、ビール風清涼飲料という新市場を開拓しよう！**

当日に活用したアイデアシート

### 練習のお題

★佐賀冷凍食品チーム  
「佐賀牛レンジDEステーキ」

★竹下製菓チーム  
「ブラックモンブランパフェ」

★友樹飲料チーム  
「こどもびいる」

★みつばや羊羹チーム  
「沖縄の黒糖・泡盛等の羊羹」

小城市では、令和元年10月1日に第2回目の「市民と企業が共創するリビングラボプロジェクト」を開催しました。参加者は、合計36名でした。

2回目では、アイデアの「発散」をキーワードに商品開発の考え方や最新事例を学んだあとに、各チームに分かれて、各社の既存商品で「コンセプト」「ターゲット」「利用シーン」等を考える練習を経て、実践的なグループワークを実施しました。それぞれの班では、個人ワーク後にアイデアをシェアしながら、白熱した商品開発に関する議論が展開されました。各個人で作成した「アイデアシート」はボードに貼り付け、付箋(黄:市民・ピンク:企業)を貼って、ブラッシュアップしました。

## 19:55～ グループワーク②(「商品のアイデアを考えよう/個人ワーク」「グループでアイデアをシェアしよう/グループワーク」)

## 21:00終了



アイデアを共有するみつばや羊羹チームの皆さん



新作のタルトを試食する佐賀冷凍食品チームの皆さん



テーブルファシリテーターと熱く議論する竹下製菓チームの皆さん



パンフレットを見ながらアイデアを発散する友樹飲料チームの皆さん

具体的な市民アイデアは次回のニュースでお届けします！